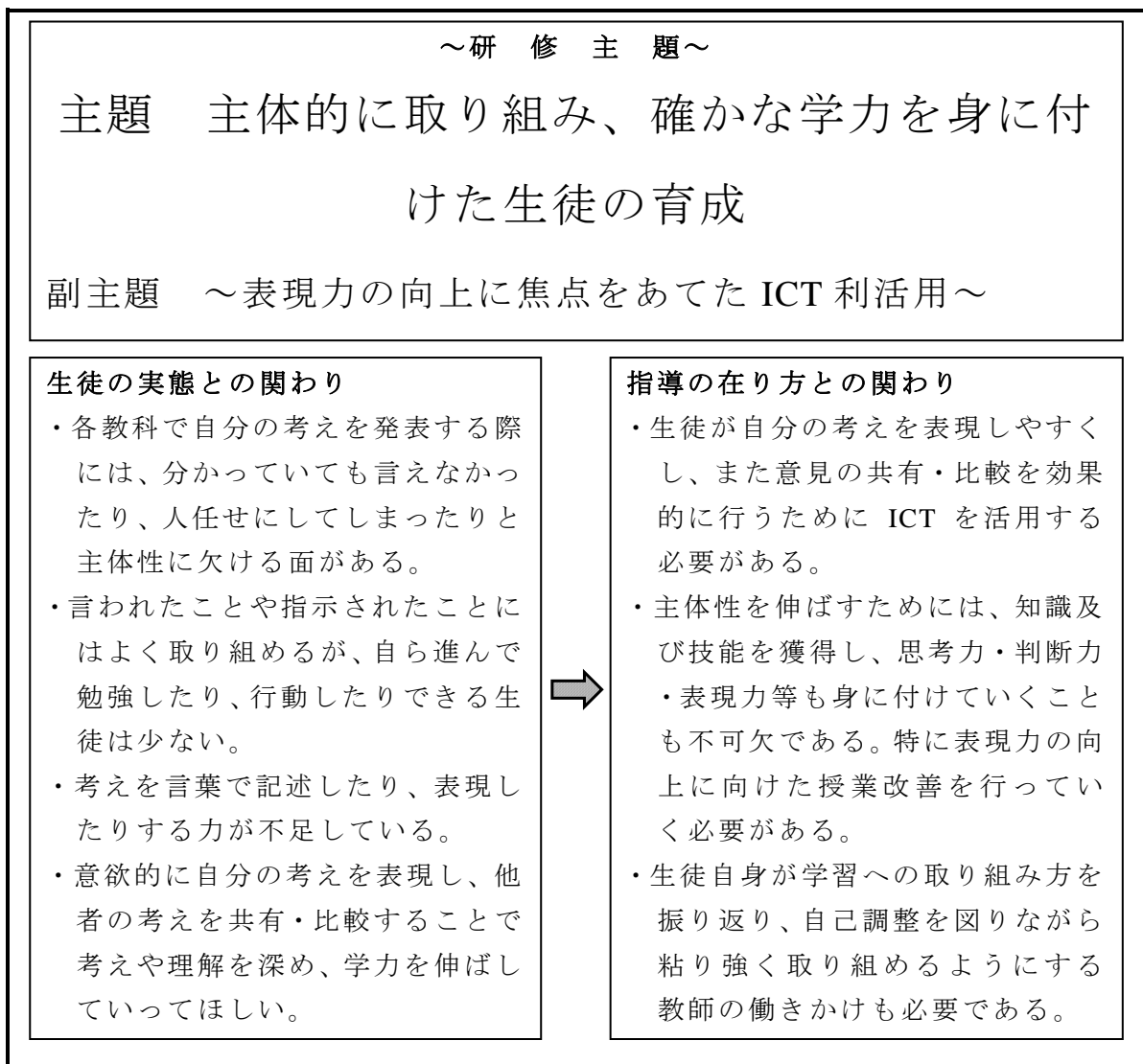


II 校内研修

1 研修主題及び設定の理由



2 研修内容・方法

(1) 具体化した目指す生徒像

主体的に学習に取り組み、他者と学び合いながら自分の考えを表現することができる生徒。

(2) 具体化した目指す生徒像を達成するための共通実践する手立て

- ・自分の考えを表現し、他者と考えを比較・検討する場面で、ICT を活用し、協働的な学びを実現できるように工夫した授業実践を行う。
- ・単元を通して主体的に取り組める課題や、学んだことを生かして問題解決を図る課題を設定し、単元末や授業の終末の場面で現れてほしい生徒の姿を明確にして授業を行う。
- ・学習を振り返る活動を充実させ、生徒自身が学習への取り組み方を振り返り、自己調整を図りながら粘り強く取り組めるようにする教師の働きかけについても検討していく。

3 研修計画・経過報告

共通実践する手立て「自分の考えを表現し、他者と考えを比較・検討する場面で、ICTを活用し、協働的な学びを実現できるように工夫した授業実践を行う」に着目した研修計画・経過報告

月日	指 は、指導案検討 研修計画 [内容]	授 は、研究授業・授業研究会 経過報告 [○研修の視点(上段)・明らかになったこと(下段)]
4.6	・校内研修推進委員会① (今年度の校内研修の方向性の検討・確認)	○生徒の実態や課題の原因分析を行った。 ・昨年度までの取り組みと生徒の実態を踏まえ研修の方向性を考えることができた。
4.18	・今年度の校内研修の方向性についての共通理解	○研修主題や内容について検討し、共通理解を図った。 ○教科経営案(グランドデザイン)についての確認を行った。 ○今年度の研修の進め方、1授業についてのアンケートの実施
5.9	・資質向上研修① ・研修計画の検討	○学校運営協議会についての講話を聞き、学校と地域との関係、連携強化についての知識を深めることができた。 ・一人一授業公開の計画、共通実践する手立てを確認した。
5.23	・資質向上研修② ・A訪問に向けての確認	○SKY MENU cloudの使用法や活用法などの講義・演習を行い、職員のICT活用力を高める研修を行った。 ○指導主事訪問Aに向けての指導案についての確認を行った。
6.6	授 授業研究会① 3年社会	○タブレットなどのICTとアナログの教材を使う場面を吟味することや、次時に繋がる振り返りをさせることが課題として出された。
6.14	授 指導主事訪問A	○全ての教員がICTを活用した授業公開を実施し、個別の授業研究会等で授業改善に向けての検討を行った。
7.11	授 授業研究会② 2年英語	○ICT、アナログの双方の良さを考えた上で授業を行った。 ・授業のゴールをはっきりさせて、ICTを活用することや、交流活動を行う際に個からグループへなるよう意識することの必要性が挙げられた。
7.25	・資質向上研修③	○Google classroomとGoogle formの活用法などの講義・演習を行い、職員のICT活用力を高める研修を行った。
9.5	授 授業研究会③ 3年数学	○ICT活用の場面(全体・個人、打つのか写真で送るのか)を精選した上で授業を行った。 ・生徒の主体的に活動する時間を確保する必要がある。
9.20	・校内研修推進委員会② 指 B訪問指導案検討①	○本時におけるICT活用の場面の精選、またねらいと評価項目について議論した。 ・グループ活動と振り返りのさせ方について再検討する。
10.3	授 授業研究会④ 1年英語	○生徒が意欲的に取り組める活動を設定したこと、またICT活用の場面を精選したことで、本時のねらいに迫る授業が展開できた。 ・振り返りについてGoogle formの中にどういった発問を投げかけ、どのような振り返りにさせるか考える必要がある。
10.20	授 ICT活用促進プロジェクト事業モデル校公開授業 1年国語	○タブレットを活用し、自分の解釈の根拠を考えた時、他の人の解釈と比較したりして交流することは、考えを深めながら作品を読み描くのに有効であったか。 ・ICTを使ったことで教師の意図が表しやすく、生

	2年理科	<p>徒の考えを見ることで教師の働きかけもしやすくなっていた。</p> <p>○体が動くときの筋肉や骨の働きをまとめる場面で、スプレッドシートでの情報共有や腕内部の動画を活用したことは、筋肉や骨の動きを理解し、表現するのに有効であったか。</p> <p>・思考する際にコミュニケーションもよく取れていて、考えを共有できたのはよかった。予想、考察、結果の過程を明確にした授業を展開する。</p>
10.24	・ICT公開授業を受けて指B訪問指導案検討②	○ICT公開授業の授業研究会を受けて成果と課題を共有した。また、B訪問の指導案を全体で検討した。
11.2	授指導主事訪問B 1年体育	○タブレット等のICTを活用した習熟度別集団でのグループ学習を取り入れたことは、マット運動への動機づけを高め、考えを伝える個々の表現力を向上させる上で有効であったか。 <p>・アドバイスし合うことで表現力向上につなげたいので、それに即したためあて、ねらい、振り返りにする。</p>
11.14	授授業研究会⑤ 1年理科	○課題解決に向けた教師の関わり方を工夫する。 <p>・目に見えない物を理解させるときに、今回使用したようなソフトはとても有効であった。</p>
12.12	・研究紀要(川場の教育)の原稿作成分担	・研究紀要執筆の形式や分担について、全職員で共通理解をした。
1.23	・研究紀要(川場の教育)の原稿検討 ・今年度の総括、次年度の研修に向けた現状と課題の把握・分析	○研究紀要(川場の教育)の原稿検討 ・職員アンケート調査の実施、校内研修のまとめにおける検証と確認、本年度の取組の総括を行った。
3.14	・研修のまとめ	○研修のまとめ・来年度の校内研修の方向付け

資質向上研修

月日	区分	講師	内容
5.9	学校運営協議会についての研修	社教主事	・学校運営協議会についての講話を聞き、学校と地域との関係、連携強化についての知識を深めることができた。
5.23	ICT活用についての研修	研修主任等	・SKY MENU cloudの使用法や活用法などの講義・演習を行い、職員のICT活用力を高める研修を行った。
7.25	Google classroomについての研修	オンライン学習サポーター、利根教育事務所教育DX推進CO等	・Google classroomとGoogle formの活用法などの講義・演習を行い、職員のICT活用力を高める研修を行った。
10.24	AEDに関する安全研修	養護教諭	・AEDの使い方、心肺蘇生法について職員全体で共通理解を図った。



4 実践のまとめと今後の課題

本校では、前年度までの道徳科での研究で育ててきた「考え、議論する力」を更に広げるために、今年度は新たに各教科で、「主体的に取り組み、確かな学力を身に付けた生徒の育成」を目指して研修を進めてきた。研修1年目の今年度は、表現力の向上に焦点をあてたICT利活用を意識した授業実践のために資質向上研修も積極的に行ってきた。また令和2年度から3年間、群馬県教育委員会から指定を受けた「ICT活用促進プロジェクト実践推進校」の最終年度を迎え、その集大成となる事業モデル校公開授業と実践発表も開催することができた。

(1) 成果

- ・これまでの研修でも行ってきた一人一授業の成果・課題のリレー型研修を共通実践する手立てとして継続して行ってきたことで、研修を重ねる中で内容が深まり、授業改善に繋げることができた。
- ・ICTを活用するよさを生かした授業実践を各教科において日常的に展開してきたことで、生徒側も教師側もICTを無理なく活用できるようになった。特に、自分の考えを表現し他者と考えを比較・検討する場面で活用したことで、活発な意見交流に繋がり、個の考えが深まるような授業が展開できた。
- ・主体的に取り組める課題や学んだことを生かして問題解決を図る課題を設定し、現れてほしい生徒の姿を明確にすることで、生徒の学びに向かう姿勢が高まった。
- ・生徒の変容については、7月・12月実施の本校の取り組みに関する調査の比較で「主体性」と「表現力の向上」の面から探った。なお質問の選択肢は4段階である。

質問	【7月】はい(よくある)と回答した生徒 [%]	【12月】はい(よくある)と回答した生徒 [%]
①あなたは授業に意欲的に取り組んでいますか。 (はい・だいたい・あまり・いいえ)	50.7	63.0
②あなたは授業中、友達と自分の考えを発表したり話し合ったりすることがありますか。 (よくある・ときどき・あまりない・ない)	54.9	60.3

上記の2つの質問に対して、はい(よくある)と答えた生徒の割合はいずれも12月には増加した。研修を通して、生徒が意欲的に取り組める課題や題材の工夫をしたこと、またICT・タブレット端末のよさを生かした授業改善や協働的な学びを実践したこと、自身の学習を振り返らせる働きかけを教

師が行ってきたことの成果が結果として現れ、生徒の主体性や表現力向上に繋がっていると考える。

(2) 課題

- ・教師も生徒も ICT 活用の幅が広がってきたが、授業のねらいの達成に向けて、どういった ICT 機器を、授業のどの場面で、どのような目的で使うかを意識し、活用する場面については精選する必要がある。また直接的な対話や紙での記録、板書など従来の学び方も大切にしつつ、双方のメリットを生かしていけるとよい。
- ・学習を振り返る活動では、今年度は各教科の特性に応じて先生方が工夫し行ってきた。今後はどのように学びを蓄積していくか、その手段について更に各教科や全体で検討・研修を進めることが重要である。学習の振り返りを引き継いでいくことで、生徒が自己調整を図りながら、主体的に学ぶことに繋がっていくと考える。

(3) 課題解決に向けての今後の取組

- ・ICT を活用した協働的な学びの場で、より思考を深めていくために、教師の指導や支援のあり方を考える。